

# コース13 しゅうげん やま こすげやま 修験の山・小菅山



ギンリョウソウの山

リーダー CL IM.  
 実施日 令和4年6月19日(日)  
 天候 晴れ グレード B  
 参加者 20人(男性 2 女性18)  
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	西口7名 越後川口経由 休憩2ヶ所
小菅神社(講堂)	9:20	9:35	三ノ鳥居から石畳の参道を歩き、途中から登山道へ
奥社本殿 840m	11:15	11:30	
女神の森(上の平)	11:40		ここから山頂まで綺麗なブナの森
小菅山頂分岐 昼食	12:15	13:00	山頂 1,047m へは行かず女神の森で昼食。
北竜湖・小菅山登山口	14:10		ブナの森を過ぎると急な下り坂が続く。
北竜湖駐車場	14:35	15:00	静かで小さな湖
秋葉区役所前	18:11		休憩2ヶ所

## 山行等概要(幹事のコメント)

- 三班体制でSL(LL)を置かず各班に副班長を置いた。班交代の都度、最後尾の班副班長にLLの枠割をお願いした。
- 三ノ鳥居から600m 続く杉並木と石畳の参道。不揃いで傾いた石畳の上り坂を足元に注意しながら歩いた。途中から急坂になり山道に変わった。山道は広いが岩がむき出してゴツゴツしている。愛染岩で休憩をとり奥社へ進んだ。石畳も山道も乾いており滑らなくてほっとした。
- 奥社から10分ほど上がるとブナの森。ここから山頂部は豊かなブナの原生林が広がり「女神の森」と命名されている。奥社までは訪れるがここへ上がる人は北竜湖縦走の人だけ。我々だけの女神の森散歩となった。山頂分岐点まで美しいブナ林の光景を堪能しながらゆっくりと歩いた。
- 昼食は山頂分岐点のブナの下で摂った。山頂は分岐から200m先。入口表示はあるが途中案内標識は無くテープを見つけながら進む。山頂には三角点らしき石標があるだけで展望無し。藪化してお



奥社本殿 840m 後光がさして

り時間的なこともあり山頂行きは取止めた。標高がほぼ同じ分岐点、綺麗なブナに囲まれて気持ちよい昼食タイムになったと思う。

- 北竜湖への下山。ブナの森を緩やかに下ると急斜面の指導票が立っておりそこからは次から次へと長短急坂が現れた。 幸い落葉の下り坂は乾いており滑らず助かった。途中、ギンリョウソウ、ウリノキや時折吹く涼風に癒されて全員元気に下山した。
- 暑くもなく、登山道は歩きやすく、美しいブナの森を堪能して、不調者や事故もなく全員元気に歩くことができました。 皆さんに感謝です。ありがとうございました。

## 小菅山修験の道へ

237 H.R.

小菅山は古来信者が山にこもり修行に励んだ山とのことで、北信濃における修験の霊場として有名な山です。

また、小菅神社奥社は国の重要文化財に指定された由緒ある神社です。

私たちはむかし信者が歩いた修験の道をたどり奥社、小菅山の山頂へと歩きます。

集落の講堂の駐車場に着くと、来月神社のお祭りがあるとのことで講堂が開かれ掃除をしたり提灯が下げられたり周囲の草刈りがされたりと準備が進められていました。集落の中の急な坂道を三の鳥居まで行きます。

10時三の鳥居が登山の始まりです。鳥居のわきには奥社までの距離が記された指導標があり、三の鳥居から奥社まで1260メートルとありま



講堂前で出発準備



杉並木と石畳みの参道



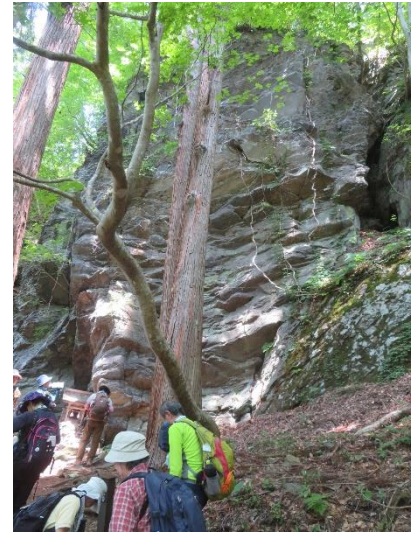
三ノ鳥居から石畳みの参道

した。さあ頑張ろう。無事を祈り歩き始めます。まず奥社までの参道を歩きますが参道は苔むした石畳の急坂で、思わず大変だなあと思いました。参道両脇には樹齢何百年にもなろうかと思われる杉の大木の並木道です。道の両脇にはいわれのある石がところどころにあります。20分くらい歩いたところの旧観音堂跡で小休止、歩き始めて間もなく現れるのが隠れ石(川中島合戦で上杉謙信が隠れたといわれる石)次に御座石(弘法大使が座ったとされる石)、石のわきにはそれぞれいわれが彫ってある石柱が立ってあります。その次は船石(船に似ている)です。参道は石畳が続いていますがしばらくすると石畳が終わり登山道の始まりです。だいぶ登り、奥社まで400メートルの所まで来ました。登山道わきでサイハイランを見つけました。また葉が車のようになっている小さい植物の群生があり何の花だろうと思いつながら(家に帰って調べたらクルマバ草でした)歩を進めます。賽の河原、愛染岩(恋愛成就をかなえる)と続きます。頑張ってきたのでここで休憩です。皆さん腰を下ろして水分補給です。そのあともいわれのある石、岩が沢山ありましたが凡人の私には覚えられません、情けない。

あともう一息、太鼓橋を渡り、不動堂岩を過ぎると奥社まで100メートルの標識です。しばらく歩くと頭上に奥社が



サイハイラン



愛染岩



奥社までもう少し



ランチタイム

見えてきました。ひと登りで小菅神社奥社です。ひなびた奥社は周囲の岩と一体化して樹木の中にひっそりとした佇まい、

歴史の息吹きが感じられます。多分お祭りになると御開帳されると思いますが戸は閉ざされていました。これからの登山の無事を祈り、お賽銭を小さな窓から投げ入れてお詣りをします。

しばらく休憩をして登山口との分岐まで戻り山頂を目指しますが、またまた急登です。しばらくするとブナの木が現れます。ブナの木々に癒されながら頑張っけて登ります。登り着くとそこはブナ林、ブナの木々の間から青空が望め気分爽快です。山頂近くの山頂分岐のところで12時15分でした。平らなところで昼食です。山頂まであとわずかだったので山頂は見晴らしもなく林の中でほとんどの人はここでやめるということで私たちもここでよしとし誰も山頂までは行きませんでした。ゆっくり休み下りに入ります。

北尾根コースを下りますが、登りのうっそうとした森林の中の登山道と違い下りはブナ林、雑木林の明るい登山道で快適です。しばらくは「女神の森」と名付けられたブナ林の心地よい歩き、落ち葉を踏みしめての歩きが30分くらい続きます。それにしても誰が名付けたのでしょうか「女神の森」ロマンチックな名前です。急な下りになるからくれぐれも注意をしてとのことで、緊張しましたが登山道は乾いていて急降下にもかかわらず楽に下ることができました。途中ギンリョウソウの群生、カンアオイ、イチヤクソウ（まだつぼみ）、ウリの木など、疲れた私の心を癒してくれました。1時間20分ほどで女神の森入口に着きました。北竜湖まで林道を避け林の中の近道で北竜湖の駐車場に無事に到着。

昔の歴史ある修行の道を歩き心洗われる一日でした。一人では途中で挫けそうになるのですが、皆さんのおかげでとても楽しく一日歩くことが出来ました。皆さんありがとうございました。



女神の森



女神の森セラピーロード



北竜湖



ウリノキ揺れて



ウツボグサ